



## 小学生時代の思い出

今夏、小学校の同窓会に出席した。12人程度の出席者だったが、その中にぜひとも会いたい人がいた。



住吉町 吉岡 千秋さん

5年生の頃、となりのみっちゃんといっしょに2人で1人の男の子をいじめていた時期があった。彼が図書室で読んでいた本をわざと閉じたりした。された方はどんな気持ちだっただろう。「一度謝りたい」。そう思っていた。

その彼にやっと会うことができた。すぐに2人で「あの時はごめんね」と謝った。彼は「そんなことあったかな?」と言ってくれたが、それは優しさからのうそだと思っただけ。何より、彼が今とても幸せそうだったことがうれしかった。

た。

私もいじめを受けたことがある。小学1年生から3年間、毎日泣かされて家に帰った。当時、いじめっ子だった男子2人は度々謝ってくれ、今度も謝ってくれた。私は「忘れへんで」と冗談めいて返す。今では、そんな間柄でいられることをうれしく思う。

こうして私の小学生時代のいじめの経験はちゃんと謝ったり、謝

ってもらったりしたこと、いい思い出に変えることができた。

世の中からいじめがなくなることはないのかもしれないけれど、とりかえしのつかないようなひどいいじめだけは無くなつて欲しいと最近のニュースを見ていてそう思う。

次は、長生町の玉置正敏さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市春季短歌大会作品

浮き上る金魚にさへも嘲われてまだ来ぬ君のメールを待ちぬ  
清水 利子

境内の箒目すがしその上を吾の足形ほつほつ続く  
川口 節子

取り壊す家屋より外す棟札の埃拭えば過去の見え来る  
枝川 照子

一人見るは惜しきと思う桜花耳寄せ目寄せ口づけぞする  
井上 正恵

友くれし桜は彼岸にわつと咲き生け添ふ松のみどりはうごかず  
吉永賀代子

短日を長い思いに暮るる日よ施設の母と遠距離の娘を  
黒部 君代

農婦へと心揺らして春浅き今朝堰切つて水が流れる  
黒部 君代

仏飯を盛る男手よちちろ虫

橋 秀和

三下りおどる蹴出しの彩鼻緒

淡島 春海

プレゼント粋なステテコ照れる夫

清原 栄子

人体図整骨院の生身魂

泉 夕起子

そうめんの熨斗の小さき御中元

工藤千鶴子

機窓より入道雲の裏を見る

宮田 春子

道草の子の覗きおる目高の子

東條 当子

墓参り母知る人の減りにけり

宮繁ただし

夏雲や領土問題再燃す

安部 正剛

### 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

欲深い大人魔法によくかかる

野村 敏子

お出掛けへちよつと嬉しいイヤリング

持木 寿栄

大丈夫励ます君は頼もしい

佐野 智子

嫌になる毎回探す車のキー

山形 恭子

バス賃に万札だけの困り者

橋本 征介

### 俳句

阿南市俳句連合会選

日の暮れの風つきあたる軒すだれ  
谷脇 春代